

会報

第101号

平成22年6月28日
新潟県特別支援教育研究会
事務局：新潟市中央区
白山浦1-207-3
新潟市立鏡淵小学校内
発行：文久堂



会長就任にあたって

新潟県特別支援教育研究会
会長 毛利隆二

本研究会は、新潟県障害児教育研究会の名称で昭和二十八年に設立され、平成十七年に今の名称に改称され現在に至っております。この間、県内各地において研究大会を開催したり、関プロ新潟大会や全国大会新潟大会等も複数回開催したりしてきました。今年二月発行の会報が記念すべき百号となっております。またこのほかにも「特殊教育の手引き」等も発刊してきました。

このように先達による輝かしい業績を残してきた本研究会ですが、一方で時代の流れに伴う課題等も浮かびあがっているように思われます。特別支援学級設置校及び特別支援学級数の増加や市町村合併等により、規約の見直しや研究大会の地域割、役員選出等のあり方の吟味、本研究会が加盟する「全日

本特別支援教育研究連盟」以外の全国組織（特別支援学級設置校校長会等）からの問い合わせや案内への対応のあり方等があります。これらについては十分に検討を行い、改善に結びつけていきたいと考えています。

ところで、障害者権利条約の批准に向け、内閣府に「障がい者制度改革推進会議」が設置され、議論が進められています。このことは最近知ったのですが、この会議の議論に注意を払う必要があります。

障害者と健常者を分けないインクルーシブ教育の実現を求めているようですが、会議は教育関係者抜きにものごい速さで検討が進められているようです。会議の根底には、特別支援教育が障害のある子どもが学ぶ権利や学ぶ場所を

奪い、特別な学校、学級で差別しているとの主張があるように思われます。これまで、子ども一人一人が障害や発達の状況に応じた教育が受けられるとした特別支援教育の根幹を揺るがしかねない報告が出されるのではと案じます。文科省でも議論に懸念を示しているようですが、報告によっては教育現場を混乱させかねないものとなる恐れがあり、注視していきたいと思えます。

最後になりますが、本会規約第二条に「障害のある特別な支援を要する児童生徒に対する教育の推進を図ること」と示された目的遂行に努力してまいりたいと思えます。今年度は、例年作成している「特別支援学級担当者名簿」を各校から電子データでいただくことに改めた結果、五月開催の評議員会でお渡しすることができました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます（昨年度は十月に送付）。また、新たに評議員会開催の旅費も確保するようにしました。すぐにも改善できることには直ちに取り組みますし、検討の必要なことは時間をとっていきます。よりよき活動推進のため関係各位のご協力をお願いいたします。

平成二十二年 度

主な行事予定

- 五月 第一回理事・評議員会
 - 六月 各研究部研修予定集約
 - 七月 会報101号発刊
 - 八月 関プロ山梨大会（6日）
上越地区特別支援教育研究大会 柏崎・刈羽大会（19日）
 - 十月 中越地区特別支援教育研究大会 魚沼大会（5日）
全特連全国大会鳥取（大会）（28・29日）
 - 十一月 下越地区特別支援教育研究大会 新潟大会（26日）
 - 十二月 第二回理事会
会報102号発刊
- 各研究部の研修は、それぞれの研修計画に沿って実施する。

平成二十二年度
県特支研役員
(敬称略)

会長

毛利 隆二(鏡淵小)

副会長

西山 康春(南本町小)

丸山 修(三条小)

竹内淳一郎(新潟市立東特別支援)

理事

大野 俊哉(県立高田養護)

高澤 誠一(新井中央小)

小暮 哲郎(大洲小)

笠井 博(千手小)

小野塚正春(北辰小)

真柄 正幸(万代長嶺小)

高橋 雄一(小針小)

片野 亨(光晴中)

東山 泰生(外ヶ輪小)

長谷川義郎(新津第一小)

高橋 晃(県立小出養護)

藤村 修(新大附属特別支援)

会計監査

高橋 守(糸魚川小)

池田 清治(新町小)

高橋 信(燕東小)

平成二十二年度
県特支研評議員
(敬称略)

上越地区

佐藤 真市(春日新田小)

上越地区

齋藤 英男(浦川原中)

柏崎・刈羽地区

荻野 健一(松浜中)

柏崎・刈羽地区

和田 英史(半田小)

糸魚川地区

伊野 啓一(大和川小)

妙高地区

三田 吉夫(斐太北小)

長岡・三島地区

小林 詞子(栖吉小)

長岡・三島地区

本間 秀宜(大島中)

三条地区

八幡 和男(第一中)

三条地区

福島 光(長沢小)

燕・弥彦地区

海藤 英紀(燕西小)

加茂・南蒲地区

樋口 米満(羽生田小)

見附地区

柳 久雄(今町小)

小千谷地区

金澤 壽一(小千谷中)

十日町・中魚地区
石塚 彰雄(川治小)

十日町・中魚地区
桑原 正(津南小)

魚沼・川口地区

笠原 正(広神西小)

南魚沼地区

牛木 善博(湯沢中)

新潟市北区地区

早川 幹雄(葛塚東小)

新潟市東区地区

駿河 仁志(木戸小)

新潟市中央区地区

菊池 秀夫(紫竹山小)

新潟市江南区地区

池 典比古(亀田中)

新潟市秋葉区地区

齋藤 進一(結小)

新潟市南区地区

加藤 文子(庄瀬小)

新潟市西区地区

片桐 宏之(立仏小)

新潟市西蒲区地区

袖山 兼一(巻南小)

新発田・北蒲地区

小林 幹雄(紫雲寺小)

新発田・北蒲地区

佐藤 秀夫(蓮野小)

胎内地区

浮須 洋子(きのと小)

村上・岩船地区(小)

村上・岩船地区(中)

工藤ひとし(朝日中)

五泉地区
関 暢夫(五泉北中)

阿賀野地区
保科 徳久(京ヶ瀬小)

東蒲原地区
佐藤 雅(上条小)

佐渡地区(小)

児玉 勝巳(加茂小)

佐渡地区(中)

永井 学(真野中)

県立新潟盲学校(視)

小西 明

県立長岡聾学校(聴)

横田 敏盛

県立柏崎養護学校(病)

上野 秀樹

県立上越養護学校(肢)

中田 俊幸

妙高市立にしき特別支援学校(知)

松岡 義男

平成二十二年度
県特支研事務局

事務局長

今井 真悟(鏡淵小)

事務局

樋口由起子(鏡淵小)

小林 幸一(鏡淵小)

佐藤 昇(鏡淵小)

中野 祐子(鏡淵小)

羽田 英子(鏡淵小)

大桃 啓美(鏡淵小)

佐藤 育子(鏡淵小)

平成二十二年度 各研究大会の紹介

◆全日本特別支援教育 研究連盟関係

○第43回関東甲信越地区特別支援
教育研究協議会山梨大会

テーマ

「すべての子どもが
豊かに生きるための
支援をめざして」

期 日 8月6日(金)

会 場 うぐいすホール
(都留市)、都留文科大
学 他

県内職員派遣

第1分科会…

特別支援教育を推進する学校
経営・校内体制

〈提案発表者〉

上越市立飯小学校

小林 啓一 校長

第11分科会

各教科等を合わせた指導
(日常生活・遊び)

〈提案発表者〉

新潟県立高田養護学校

真島 広明 教諭

○第49回全特連全国大会鳥取大会

テーマ

「自分らしく豊かに生きる
ーともにつながり、深め、
拓く特別支援教育ー」

期 日 10月28日(木)

29日(金)

会 場 米子コンベンションセ
ンター、米子市文化ホ
ール 他

県内職員派遣 なし

功労者表彰

昨年度県特支研会長

吉田 俊雄氏

(前新潟市立養護学校校長)

を推薦

◆各地区研究大会の開催

○上越地区特別支援教育研究大会
柏崎・刈羽大会

期 日 8月19日(木)

会 場 刈羽村生涯学習センタ
ー「ラピカ」、
農村環境改善センター
柏崎市立大洲小学校

(事務局 柏崎市立大洲小学校)

○中越地区特別支援教育研究大会
魚沼大会

期 日 10月5日(火)

会 場 魚沼市立広神西小学校
(事務局 魚沼市立広神西小学校)

○下越地区特別支援教育研究大会
新潟大会

期 日 11月26日(金)

会 場 ユニゾンプラザ
(事務局 新潟市立結小学校)

◆各部の研修予定

○知的障害部

日時 8月10日(金)
会 場 新潟県立生涯学習推進
センター
(事務局…新潟第一小学校)

○自閉症・情緒障害部

日時 8月11日(水)
会 場 新潟市万代市民会館
(事務局…長岡市立千手小学校)

○言語難聴部

日時 8月5日(木)
会 場 東京電力株式会社
柏崎エネルギーホール
(事務局…新潟市立万代長嶺小学校)

○病虚弱・肢体不自由部会

日時・会場は未定
実技実習研修を予定
(事務局…三条市三条小学校)

平成21年度 新潟県特別支援教育研究会 決算報告

新潟県特別支援教育研究会

△は予算に対する減 (単位:円)

1 収入の部

区 分	予 算	決 算	比較増減(△)	摘 要
会 費	1,483,600	1,490,000	6,400	設置校 (555) 学級数 (1004) 特別支援学校本校 (20)
啓 発 会 議 費	0	0	0	平成21年度新潟県啓発会議費なし
助 成 金	520,000	600,000	80,000	教育弘済会15万円 教職員厚生財団45万円
雑 収 入	758	1,229	471	利息229円、旅費の超過分返金1000円
繰 越 金	551,642	551,642	0	平成20年度より繰越
合 計	2,556,000	2,642,871	86,871	

2 支出の部

△は予算に対する減

	予 算	決 算	比較増減(△)	摘 要
I 研 究 大 会 費	870,000	870,000	0	
1 上越地区大会	160,000	160,000	0	
2 中越地区大会	160,000	160,000	0	
3 下越地区大会	160,000	160,000	0	
4 佐渡地区大会	160,000	160,000	0	
5 特別支援学校部	50,000	50,000	0	特別支援学校助成
6 知的障害部	50,000	50,000	0	研究部研修会費
7 言語・難聴部	50,000	50,000	0	〃
8 自閉症・情緒障害部	50,000	50,000	0	〃
9 肢体・病虚弱部	30,000	30,000	0	〃
II 本 部 役 員 旅 費	540,000	369,580	△ 170,420	
1 県特支研理事会旅費	100,000	88,440	△ 11,560	理事会5月と2月に開催
2 全国大会・関プロ提案発表者等派遣	140,000	115,700	△ 24,300	本年度 埼玉大会 (5名参加) 山形大会 (下越 1名参加)
3 全国大会役員派遣	120,000	0	△ 120,000	
4 会長、副会長、事務局員会議旅費	150,000	116,520	△ 33,480	会長 (5月東京、8月関プロ、10月山形) 副会長 (10月山形) 事務局 (8月関プロ、10月山形)
5 会長、副会長、事務局員会議旅費	30,000	48,920	18,920	上越大会、中越大会、下越大会、佐渡大会
III 研 究 成 果 刊 行 費	140,000	152,005	12,005	
1 会 報	80,000	90,300	10,300	会報99,100号印刷製本費
2 通 信 ・ 運 搬	60,000	61,705	1,705	会報郵送費、ホームページ年間通信料
IV 事 務 局 費	455,000	411,767	△ 43,233	
1 通 信 ・ 運 搬	130,000	95,816	△ 34,184	郵送料、評議員の配布用封筒、振込手数料
2 消 耗 印 刷	60,000	67,652	7,652	事務用品、用紙代
3 会 議	50,000	36,227	△ 13,773	理事評議員会会場借り上げ代金、会計監査旅費
4 名 簿 作 成 費	5,000	0	△ 5,000	特別支援学級担当者名簿記入用紙
5 雑 費	40,000	54,888	14,888	理事会評議員会お茶代、両替手数料 県教職員名簿 全国大会関プロ大会集録
6 調 査 費	10,000	2,080	△ 7,920	発達障害通級アンケート郵送代
7 事 務 機 器	160,000	155,104	△ 4,896	ノートパソコン、データベース「アクセス」、
V 負 担 金	260,000	271,200	11,200	
VI 振 興 基 金 積 み 立 て	100,000	100,000	0	次回関プロ大会運営のための積み立て
VII 啓 発 会 議 費	0	0	0	
VIII 予 備 費	191,000	0	△ 191,000	
合 計	2,556,000	2,174,552	△ 381,448	

3 残高の部

2,642,871円?2,174,552円 = 468,319円

残金468,319円は次年度に繰り越します。

上記の通り報告いたします。

平成22年3月31日 新潟県特別支援教育研究会事務局 会計担当 羽田 英

会計監査の結果、会計及び証票書類の記載・整理等正確であり、会計が適切に処理されていることを認めます。

平成22年4月26日

会計監査

高橋 守

会計監査

高橋 信

会計監査

池田 清

